

平成29年度第8回「知事と一緒に生き生きトーク」の発言要旨

1 テーマ：サイクリングを通じた観光振興

2 日 時：平成30年1月22日（月）

3 場 所：サンロード吉備路

4 参加者：自転車関係団体や大学サイクリング部、観光関係者など、県内各地域で様々な立場からサイクリングに関わる方々：8名

5 総社市説明：サンロード吉備路の概要及び整備計画について説明

6 知事挨拶

サイクリングは自分自身も大好きであり、自然を感じることができて爽快なだけではなく、環境面、健康面でも優れている。自動車ほど速くなく、歩くよりは効率的に移動でき、観光の手段に向いているが、十分には活用しきれていない。サイクリングに普段から関わっておられる皆さんのお話を伺い、今後の参考としたい。

7 発言内容等

【活動紹介】

- ・毎年サイクリング県民大会を主催している。今年で46回目となり、県内様々な場所で開催実績がある。
- ・春と秋の交通安全運動での啓発活動のほか、2人乗りの自転車のイベント等に取り組んでいる。
- ・大学サイクリング部の活動として、競技会等に参加するほか、県内外でのサイクリングを行っている。行先を検討する際には、グルメや風景等、魅力ある場所を目的地としている。
- ・観光協会として、サイクリングルートを設定して観光の参考にしてもらっている。これまでにウオーキング大会を開催しているが、今後はサイクリング大会を開催できればと考えている。
- ・住民で立ち上げた団体で、10年間で500以上の体験交流プログラムを実施した。30～40歳代の女性が自転車で吉備路周辺の古墳を巡るルートを作って書籍を発行したり、イベント開催に取り組んでいる。
- ・海外で活動する情報発信や芸術のスキルのある若者を招いて、各自の能力を生かして地域をつなげる活動に取り組んでいる。地元の方が「何もない」と思っているところでも、外国人に簡単な地図を手配してもらおうと、2～3時間は楽しんでもらえる。
- ・自営の自転車店で働いており、店の自転車のチームは70名以上のメンバーがいる。昨年までは高校の自転車競技部に所属し、吉備路マラソンでは先導した。

【サイクリングの持つポテンシャル等】

- ・自転車の国内需要は、10年前には1200万台だったが700万台まで減少している。しかし、スポーツタイプの自転車は増加傾向にあり、レースや通勤で利用される方が増えている。
- ・スポーツタイプの電動自転車が登場しており、より多くの方々にサイクリングを楽し

んでもらえる可能性がある。

- ・若い頃に自転車で日本一周したが、その時の感動体験は他の手段では得られない。また、自転車では人や風景と容易に関わることができ、それが醍醐味である。

- ・自転車活用推進法が施行されるなど、ここまで自転車が注目されるようになったことは、戸惑うほどの盛り上がりである。関係団体としても、今後どう取り組んでいくか検討している。

【情報発信や推奨 8 ルートの活用等】

- ・以前、自転車を扱ったアニメーションが人気だった頃には大学のサイクリング部への入部者が非常に多かったが、最近は減ってきている。若い人たちはメディアから受ける影響が大きい。

- ・現在の情報収集はスマートフォンやパソコンが主流なので、もっとSNSを活用したアピールをした方が良い。

- ・観光協会で3年前に20台のスポーツタイプのレンタサイクルを導入したが、利用実績は少ない。PR不足と、スポーツタイプの自転車に乗るにはやや専門知識が求められることが理由ではないかと考えている。

- ・県の推奨8ルートを全て回ったら何かもらえる「ツール・ド・オカヤマ」のようなイベントを開催してはどうか。

- ・観光地に、人力車よりも長い距離を走れるように、自転車で引く人力車を導入してはどうか。

- ・例えば吉備路には、ある見方をすれば日本一の古墳がある。民間団体での紹介では限界があり、行政でまずはランキングを調べていただき、PRしてくればもっと観光客が増えるはず。そこは、自転車でないと行きにくいような場所にある。

- ・韓国の新しい検索エンジンの企画に応募して選ばれ、真庭の情報発信をする機会があった。和食等への関心は当然高いと予想していたが、予想外にサイクリングへの関心も高く、韓国から直接真庭の自転車店に問い合わせがあったと聞いて驚いた。一つのテーマに絞って情報提供すれば、思いの強い方が集まってくると感じた。

- ・自転車店の客からよく聞く要望は、バスに自転車を乗せたいということである。電車では少し導入されているが、バスに自転車を乗せることができれば行動範囲が広まり、自転車で遠出しようという意識も高まる。

- ・せっかく良いパンフレット等を作ってそれを多言語化しても、直訳しており、日本語の良いニュアンスを表現できておらず残念に感じることもある。

- ・通訳案内士制度が変革時期になっており、地域通訳案内士制度の活用など、行政としてのフォローが必要である。

- ・外国人旅行者にとって、Wi-Fiは必要不可欠である。フリースポットをどんどん増やす事は必要だが、現在あるフリースポットが分かるような情報提供が必要。

- ・自転車競技で日本トップレベルの選手がいても、ほとんど知られていない。スポーツという観点からのPR等も必要ではないか。

【サイクリングの安全確保と環境改善】

- ・昨年、スウェーデンとデンマークを訪れたが、駅から自転車で移動できる動線が整っていた。吉備路はバスが少なく、駅前からのアクセスに自転車を活用できればよいが、自転車で楽しんで走る環境がまだできていないように感じる。
- ・スポーツタイプの自転車にはスタンドが付いていないため、自転車ラックのない店舗などでは壁に立てかける。グループの場合は遠慮して長時間止めづらく、どうしても手短かに食事を終える店になってしまう。自転車ラックがもっと整備されればと感じる。
- ・自転車は免許が不要なため、買いさえすれば誰でも走れる。もっと交通ルールや安全に関する教育が必要である。
- ・道路交通法を知らない方が多すぎるため、その方の子供も知らない状況となっている。また、スピードの速い自転車・遅い自転車が一括りにされている点も危険ではないか。
- ・縁石がペダルに当たると危険であるので、もう少し高さを低くできないか。
- ・レンタサイクル店にも、ヘルメットを準備しておく必要がある。安全確保のため、走行中はヘルメットをかぶるべきである。

【知事のまとめ】

自転車に乗るのは本当に楽しい。自転車は人生を豊かにし、交流を深めるし、観光に活用できる。安全に乗れる環境や教育を整えて、自転車を皆が活用できるように取り組んでいきたい。